



季節を問わず、注意が必要！ 腸管出血性大腸菌感染症

令和3年10月20日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第41週分・10月11日～10月17日)

《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

10月17日現在、今年の県内の腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症の報告数は15件となっており、前年同時期（25件）より少数です。今年の前月の報告数も6月以降は、過去5年平均を下回っています（右図）。近年、国内では無症状病原体保有者を含むEHEC感染症が約3,000～3,900件報告されています。例年EHEC感染症は夏季に報告数が増加しますが、一年を通して報告があります。また、飲食店だけでなく家庭内でも発生することがあるので、日頃から注意が必要です。

牛などの反芻動物が本菌を保菌していることが多く、糞便を介して肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。菌が付いた食品を食べると、3～5日後に発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。一部の患者は、合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は重症化しやすいため、注意が必要です。

感染予防の基本は手洗いです。また、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けることが重要です。下記のことを気をつけて感染予防に努めましょう。

- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

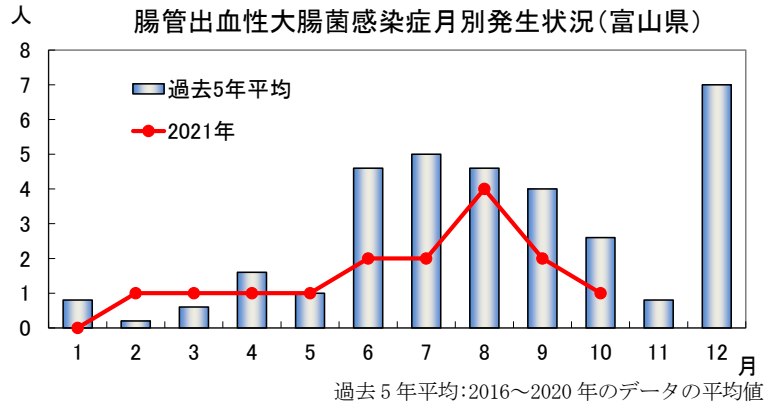
《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 17件
 二類感染症 結核 6件 (①第40週診断分：90歳代、男性 ②30歳代、女性
 ③④共に70歳代、女性 ⑤80歳代、男性 ⑥90歳代、女性)
 四類感染症 レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)
 五類感染症 梅毒 8件 (①第24週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
 ②第28週診断分：20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
 ③④共に第39週診断分：30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
 ⑤第39週診断分：50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
 ⑥⑦共に30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期
 ⑧60歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.11 (↓)	2.21
2位	突発性発しん	0.57 (↑)	0.17
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.39 (↓)	0.41
4位	手足口病	0.36 (↑)	0.07
	ヘルパンギーナ	0.36 (↑)	0.10
6位	咽頭結膜熱	0.14 (↓)	0.21

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>
 お問い合わせ URL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第41週 令和3年10月11日～令和3年10月17日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	2	3	1	10		17	372	282	1,077	299	2,144	98	4,272
二類感染症	結核			1	1	3		5	11	6	30	15	49		111
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	7	1	6		15
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症	1						1	5	3	14	1	9		32
五類感染症	アメーバ赤痢								1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	4		8
	急性脳炎										1		2		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										5	2	2		9
	後天性免疫不全症候群								1				2	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		12		15
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒				1	2			3	1	1	5	1	27	35
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症						1		1	132	130	1,578	391	826		3,057
咽頭結膜熱				3		1		4	40	40	145	7	146		378
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		4	1	4		11	71	39	454	86	249		899
感染性胃腸炎		19	5	6	10	19		59	705	409	563	224	1,265		3,166
水痘						2		2	1	15	29	17	55		117
手足口病				3	7			10	7		18	9	15		49
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		2		5	3	6		16	53	31	137	50	122		393
ヘルパンギーナ		2		1		7		10	31	24	85	4	28		172
流行性耳下腺炎									3	2	9	8	13		35
流行性角結膜炎									3	1					4
細菌性髄膜炎													2		2
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											1	9	1		11
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1					1
インフルエンザによる入院患者（※2）													1		1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	2		5	8		3	13		67	83
			1.00	0.67		1.25	0.80						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1		4	6		5	5	3	35	48
			1.00	0.33		1.00	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ					2	2				6	15	21
						0.50	0.20						
	淋菌感染症					3	3	1				15	16
						0.75	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			2	1	4	7	6	10	21	12	42	91
				2.00	1.00	4.00	1.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							3		15	1	1	20

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。